



持田小学校学校だより

オアシス

※学校ホームページは
こちらからどうぞ→



2024 年度 第8号
令和 6 年 12 月 20 日
松江市立持田小学校
校長 吉田 卓矢

人権集会

11月29日に持田小学校人権集会を開催しました。

持田小学校は、長年人権教育に重点を置き、自分も大切に、相手も大切にする取組を行っています。

中でも、人権集会の取組は各学年、学級で取り組んでいる「人権を大切にする取組」を発表したり、表現したりする大切な機会であり、これまでも、これからも重点的に取り組んでいきたい取組の一つです。

内容は「人権標語の学年代表発表」「ありがとうの実のなる木の発表」「ハンセン病についての講話」「全校ふれあいゲーム」でした。

持田小学校
人権教育の会堂

ここに
心にオアシスを

オ…おはようございます 元気なあいさつをしよう

ア…ありがとう 感謝をつたえよう

シ…しんせつに だれにでも親切な言葉や行動を

ス…すてきだね **すみません**

元気な所見つけをしよう

すなおに言おう



ここで、学校だよりのタイトルにもなっているオアシス運動をもう一度紹介しておきます。

全国的なあいさつ運動として有名なオアシス運動ですが、本校の「オアシス」は人権教育の取組として浸透しています。

「シ」が親切に「ス」がすてきだねとなっているところが特徴的なところです。

「ありがとうの実のなる木の取組」とは、友だちを大切にしたい思いやりのある言動が

見られた事例や「心のオアシス」運動に積極的に取り組む事例の一つ一つを「ありがとうの実」としてシールを貼っていきます。学年ごとのありがとうの実のなる木に実（シール）が徐々に増えていき、視覚化しながらみんなで意識を高めることができました。当日はその取組を堂々と発表していました。



2年生の取組発表場面



人権標語の発表場面

150周年マラソン

スポーツ委員会が全校で楽しみながら取り組める体力づくりイベントとして「めざせ!持田小創立150周年マラソン」を企画してくれました。

150周年のことをスポーツ委員会のこども達が、心にとめていたこともうれしかったのですが、それを「みんなが楽しめる イベント」として企画してくれたことにとても感動しました。天気の良い昼休みには、のりのりで走るこどもたちで、校庭があふれます。校庭1周が200mで、それを150周しようと思ったら、 $200\text{m} \times 150\text{周} = 30,000\text{m} = 30\text{km}$ ・・・結構な距離です。雨の日は体育館を3周走ると校庭1周分として計算しました。もちろん強制ではないので、自分の体調と相談しながら頑張っています。2学期末ぎりぎりまで取組を続けていきます。



PTA 研修会

人権教育授業公開日には、たくさんの保護者地域の方に来校いただきました。お忙しい中大変ありがとうございます。当日は、男女の違いや思いやり等をテーマとした授業を見ていただきました。

その後の、PTA 研修会にもたくさんの保護者の皆様にご参加いただきました。今年の研修会は「親楽プログラム」でした。テーマは「しつけとルール」・・・家庭学習の習慣をつけるためにみなさんならどんな声かけや工夫をしておられますか?また、いけない行動をしたときに叱る基準を持っておられますか?それはどんなことでしょうか?いろんな人が集まり、たくさんの価値観や思いで溢れました。教員も一緒に参加しましたので、保護者の方と一緒に、子育てについて考える貴重な機会となりました。このような機会を通して、こどもの思いや行いが尊重され、楽しくて、幸せを感じられる学校(楽幸)を保護者の皆様と一緒に創っていきたいと思います。来年度も多くの方の参加をお待ちしています。

